

一般競争入札を行いますので、京都市契約事務規則第5条の規定に基づき、次のとおり
公告します。

平成23年10月11日

京都市長 門川 大作

1 一般競争入札に付する事項

(1) 工事件名

大原簡易水道再整備（その3）工事

(2) 工事場所

京都市左京区大原大長瀬町 他 地内

(3) 工事概要

ア 新設

PF	φ200ミリメートル	L=	142.2メートル
PE	φ150ミリメートル	L=	359.9メートル
SUS	φ150ミリメートル	L=	19.6メートル
PE	φ100ミリメートル	L=	1,281.9メートル
SUS	φ100ミリメートル	L=	9.0メートル
D1NS (E)	φ100ミリメートル	L=	25.6メートル
PE	φ75ミリメートル	L=	348.0メートル
D1NS (E)	φ75ミリメートル	L=	8.0メートル
PE	φ50ミリメートル	L=	33.9メートル

イ 仮設

PE	φ100ミリメートル	L=	244.8メートル
PE	φ75ミリメートル	L=	20.0メートル

ウ 撤去

	φ100ミリメートル	L=	230.0メートル
	φ75ミリメートル	L=	15.0メートル
	φ50ミリメートル	L=	430.8メートル

(4) 工期

契約の日から360日以内

(5) 本件入札は、総合評価方式により行う。その概要は、5(1)及び(2)において示す。

なお、詳細については、入札参加の申請時に交付する「大原簡易水道再整備（その3）工事」にかかる落札決定基準」（以下「落札決定基準」という。）において示す。

2 参加資格に関する事項

この公告に係る競争入札に参加できる者は、次に掲げる条件を全て満たす者とする。

- (1) 京都市競争入札等取扱要綱第3条の規定に基づき、平成23年度の土木工事の種目のランクが「B」であること。
- (2) 本件入札に係る一般競争入札参加資格確認申請書の提出期限の日から一般競争入札参加資格の確認までの期間において、京都市競争入札参加停止取扱要綱（以下「要綱」という。）第29条第1項の規定に基づく競争入札参加停止の措置を受けていないこと。
- (3) 建設業法に基づく監理技術者（監理技術者講習を受講し監理技術者講習修了証の発行を受けている者に限る。）を専任で1名以上配置し得ること。

なお、配置予定の技術者は、常勤の自社社員であり、かつ、入札参加の申出日において引き続き3箇月以上の雇用関係があることとし、実際に配置する技術者の変更については、相当の理由があるものとして本市の承認を受けた場合を除き、認めないものとする。

- (4) 本件入札の一般競争入札参加資格確認申請書を提出する日において、契約課が実施した当該種目における一般競争入札（本市上下水道局が京都市長名で実施する同種目の入札を含む。）に応札し、低入札価格調査制度に基づく低入札価格調査（以下「低入札価格調査」という。）を経て契約したことにより、新たな入札への参加を制限されていないこと、又は落札決定に至っていない同種目の他の入札において低入札価格調査の対象となる応札を行っていないこと。
- (5) 関係会社の参加制限

本件入札に参加しようとする者が、次の各号のいずれかの関係に該当する場合は、そのうちの一者しか参加できない。

ア 資本関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社（会社法第2条第3号及び会社法施行規則第3条の規定による子会社をいう。以下同じ。）又は子会社の一方が会社更生法第2条第7項に規定する更生会社（以下「更生会社」という。）又は民事再生法第2条第4号に規定する再生手続が存続中の会社である場合は除く。

(ア) 親会社（会社法第2条第4号及び会社法施行規則第3条の規定による親会社をいう。以下同じ。）と子会社の関係にある場合

(イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

イ 人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、(ア)については、会社の一方が更生会社又は民事再生法第2条第4号に規定する再生手続が存続中の会社である場合は除く。

(ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合

(イ) 一方の会社の役員が、他方の会社の会社更生法第67条第1項又は民事再生法第64条第2項の規定により選任された管財人を現に兼ねている場合

ウ その他入札の適正さが阻害されると認められる場合

前各号と同視し得る資本関係又は人的関係にあると認められる場合

3 一般競争入札参加資格確認申請書等の交付

(1) 問合せ先

〒601-8004 京都市南区東九条東山王町12番地

京都市上下水道局本庁舎1階

京都市上下水道局総務部用度課

(電話 075-672-7728)

ホームページのアドレス

http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/soshiki/27-1-4-0-0_6.html

(2) 交付期間

この公告の日から平成23年10月17日（月）まで（京都市の休日を定める条例に規定する本市の休日（以下「休日」という。）を除く。）の午前9時から午後5時まで（ただし、正午から午後1時までを除く。）とする。

(3) 交付方法

(1)の場所にて無償で交付する。

なお、(1)の上下水道局のホームページからダウンロードすることもできる。

4 競争入札の参加資格の確認手続等

(1) 参加資格の確認の申請手続

入札に参加しようとする者は、次に掲げる書類（以下「申請書類」という。）を提

出し、入札参加資格について審査を受けることとする。

ア 一般競争入札参加資格確認申請書

イ 添付書類

2(3)に掲げる条件に関する書類

(2) 申請書類の提出方法

ア 提出期間

この公告の日から平成23年10月17日(月)まで(休日を除く。)の午前9時から午後5時まで(ただし、正午から午後1時までを除く。)とする。

イ 提出場所

3(1)の場所

(3) 参加資格の確認の通知並びに工事の設計図書及び図面等

申請書類の受領後、競争入札の参加資格の確認を行い、その結果は、平成23年10月21日(金)に3(1)において掲示する。参加資格があると認められた者は、この日以降に入札参加資格通知書兼競争入札通知書及び入札書を受け取ることとし、設計図書等については、平成23年10月27日(木)までに株式会社中央精器(京都市下京区烏丸五条下ル大阪町396番地 電話075-871-8400)において購入すること(購入時間は、午前9時から午後5時までとする。)。この参加資格の確認の通知日から平成23年10月27日(木)までの期間に設計図書等を購入されなかった場合には、積算不能として本件入札に参加することができない。

なお、参加資格がないと認められた者に対しては、その理由を付して通知する。

(4) 参加資格がないと認められた者に対する理由の説明

ア 参加資格がないと認められた者は、市長に対し、書面により競争入札の参加資格がないと認めた理由の説明を求められることができる。

なお、当該書面は、平成23年10月24日(月)午後5時までに、3(1)の場所に提出することとする。

イ 市長は、アによる説明を求められたときは、平成23年10月26日(水)までに、説明を求めた者に対し書面により回答する。

(5) 参加資格の確認の取消し

参加資格があると認められた者が、次の各号のいずれかに該当することになったときは、市長は(3)による通知を取り消し、改めてその旨を通知する。

ア 落札決定の日時までの間に、規則第2条第1項の規定する一般競争入札参加者の資格を喪失したとき。

イ 落札決定の日時までの間に、2に規定する本件入札に参加する者に必要な資格を喪失したとき。

ウ 競争入札参加資格の確認後、落札決定の日時までの期間に、契約課が実施した当該種目における一般競争入札（本市上下水道局が京都市長名で実施する同種目の入札を含む。）に応札し、低入札価格調査を経て契約したことにより、新たな入札への参加を制限されたとき、又は落札決定に至っていない同種目の他の入札において低入札価格の対象となる応札を行ったとき。

エ ア、イ及びウに掲げるもののほか、この入札に参加する者に必要な資格を欠くこととなったとき。

オ その他市長が特に入札に参加させることが不相当であると認めたとき。

5 総合評価の手続き

総合評価は、次の手続きにより行う。

(1) 技術資料の提出

必要事項等については、記載漏れのないように技術資料を提出すること。

なお、提出期日及び提出場所は次のとおりとする。

ア 提出期限

平成23年11月1日（火）

イ 提出場所

3(1)の場所

(2) 技術資料の評価

入札参加資格の確認結果通知の際に交付する落札者決定基準に定めるところにより総合的に評価する。

なお、本件の配置予定技術者のうち1名については、下記のとおり評価する。

ア 施工実績

平成13年度以降に元請として受注し、技術資料提出期限までに完成済みの国又は地方公共団体が発注した同種工事又は類似工事のうち、配置予定技術者が監理技術者又は主任技術者として従事した実績を評価する。同種工事とは、開削工法によるポリエチレン管口径100ミリメートル以上かつダクタイル铸铁管口径100

ミリメートル以上を含む配水管布設又は布設替工事とする。類似工事とは、開削工法によるポリエチレン管口径100ミリメートル以上又はダクティル鑄鉄管口径100ミリメートル以上を含む配水管布設又は布設替工事とする。ただし、共同企業体の構成員としての施工実績の場合は、出資比率が20パーセント以上の場合に限るものとする。

イ 保有する資格

有する国家資格のうち、1級土木施工管理技士、1級建設機械施工技士又は技術士（建設部門、上下水道部門、総合技術監理部門）の資格を評価する。

6 入札の実施日時及び実施場所

(1) 実施日時

平成23年11月18日（金）午前10時

(2) 実施場所

京都市上下水道局総務部用度課入札室

7 入札方法等

(1) 入札は、原則として、参加資格者が入札に参加して、入札書を入札函に投函することにより実施する。

(2) 入札者は、(1)により投函した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることはできない。

(3) 代表者以外の者（以下「代理人」という。）が入札に参加する場合には、本件入札に関し代理人を選任した旨を記載した委任状を提出すること。ただし、代表者の記名押印がある入札書で入札する場合には、委任状の提出は不要とする。

(4) 入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、消費税及び地方消費税を含まない金額を入札書に記載する。

8 落札者の決定方法及び低入札価格調査

技術資料等の評価による得点を入札価格で除すことによって得た数値（以下「総合評価点」という。）の最も高い者を落札者とする。ただし、低入札価格調査制度の調査基準価格を下回る価格で入札を行った場合（以下、その入札者を「低入札価格入札者」という。）は、同制度による調査を実施するので、平成23年11月22日（火）午後5時までに低入札価格調査に必要な書類等（以下「低入札価格調査資料」という。）を3(1)の場所に提出すること。

低入札価格入札者が、低入札価格調査資料を期日までに提出しない場合は、理由の如何を問わず入札参加資格を取り消し、その者に対し要綱第29条第1項の規定に基づき、競争入札参加停止措置を行う。

契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認めるときは、その者との契約を行わない。

低入札価格調査に係る調査項目等の詳細は、3(1)の場所において掲示する。

なお、最も高い総合評価点を得た者が2者以上ある場合は、入札価格がより低い者を落札者とする。この場合において、入札価格が同額である者が複数あるときは、入札価格が同額である者の中から抽選により落札者を決定する。

9 低入札価格調査を経て落札者となった者の取扱い

(1) 本件入札において、低入札価格調査を経て落札者となり契約した場合は、契約の日から当該請負者が提出する完成通知書に記載の完成日（当該期間が1年を超える場合は、1年を経過する日）まで、契約課が実施する当該種目の入札（本市上下水道局が市長名で実施する同種目の入札を含む。）には参加できないものとする。

(2) 前払金を契約金額の4割から2割に引き下げることとする。

(3) 契約保証金を契約金額の1割から3割に引き上げることとする。

(4) 中間前払制度を適用しないこととする。

10 入札の無効

(1) 本件入札及び本件と開札日を同じくする他の同種工事の入札（本市上下水道局が市長名で実施する同種目の入札を含む。）において、低入札調査基準価格を下回る額の応札を複数の入札で行った場合は、その者の行った入札を無効とする。

(2) 規則第6条の2各号（第2号、第3号、第5号、第6号及び第7号を除く。）の規定に定めるもののほか、虚偽の申請により競争入札参加資格があると認めた者が行った入札は無効とする。

11 その他

(1) この調達は、政府調達に関する協定の適用を受けないものではない。

(2) この手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

(3) 積算内訳書の提出

ア 入札参加者は、入札金額に対応する積算内訳書を入札日時に提出すること。

イ 積算内訳書については、少なくとも項目、単価、数量及び金額を記載するものと

する。

ウ 積算内訳書は、入札の参加条件として提出を求めるものであり、契約上の権利義務を生じるものではない。

(4) 入札保証金 免除

(5) 契約保証金 必要

(6) 前払金 有

(7) 中間前払金又は部分払 契約時選択

(8) 契約書作成の要否 要

(9) 公正な競争を確保するため、本件入札において互いに競争相手であった落札者（以下「契約者」という。）と落札者以外のもの（以下「非落札者」という。）とが、次に掲げる事項を行うことを禁止する。

ア 契約者が、非落札者に本件工事の施工に関して建設業法第2条第1項に規定する建設工事を請け負わせること。

イ 非落札者が、契約者から本件工事を請け負うこと（2次下請、3次下請その他契約者と直接契約を締結しない場合を含む。）。

（上下水道局総務部用度課）